

◆新型コロナ疫病退散◆

なごしのおおはらえ
夏越大祓 と
ちのわ
茅輪くぐり

6月27日(日)～
7月4日(日)の間

倉賀野神社

◎大祓(おおはらえ)とは

大祓は私たちがふだん知らず知らずのうちに犯した「つみ」や、体内に生じた「けがれ(「気枯れ」)を祓い除ける神事で、毎年六月と十二月の末日におこなわれます。六月を夏越の大祓、十二月を年越の大祓といいます。

大祓式には、それぞれの家族が「身代わり形代(「人形」)を持ち寄ります。身の回りの一切のつみ・けがれを人形に託して祓い落とし、心身を清めるもので、「神さまから生命をまた新たにいただいで生まれ変わる」ということを意味します。

とくに夏越の大祓式では古来、参道に設けた大きな「茅輪」をくぐってお詣りし、「疫病除け」を併せて祈願する習わしがありました。

このようにして半年ごとの節目に生命の更新を祈る大祓式は、個人や家族のことにとどまらず、往古より社会全体の再生を祈念する国家の重儀でもありました。

大祓の歴史は、今から一三〇〇年前、大宝令の時代にまでさかのぼります。わが国に悠久の神道の神髄ともいえます。

◎「身代わり人形」の扱い方

(一) 袋の中から取り出した人形の一枚一枚に、ご家族がそれぞれ氏名と生年月日を書き入れます。

(二) その人形で自分の身体を頭から足先まで、ていねいに撫で、最後にその人形にそっと息を

吹きかけます。

(三) ご家族の人形をまとめて袋に入れ、初穂料(家族の人数にかかわらず一家族につき二千円)を添えて社務所にお届けください。



身代わり形代(人形)の記入例

▼六月二十七日(日)から七月四日(日)までの間、神社に茅輪が設置されていますので、どうぞくぐってお参りください。ご参拝の折に、持参した「人形」を授与所にお渡しください。疫病退散の「大祓茅輪神札」を授与いたします。

※なお新型コロナウイルス感染予防のため、今回(令和三年六月)、一時に参拝者が密集、密接する儀式は執り行いません。例年ですと、六月三十日の夕方六時に大勢の参拝者が神社に集合して、一同が順に茅輪をくぐり、そのあと昇殿していっしょに「大祓詞」を奉唱します。今回はそれを行いません。

▼期間中にご来社できない場合は、人形を事前にお届け、また神社宛郵送も受付いたします。参拝者同様に神事を厳修した「大祓茅輪神札」をご送付いたします。お問い合わせや人形枚数の追加ご希望の場合は、どうぞ社務所までご連絡ください。

〒370-1201 高崎市倉賀野町二二六三番地

倉賀野神社 社務所

☎〇二七(三四六)二二五八

http://www.chinjuinfo/



郵便振替
加入者名「倉賀野神社」
00100-7-296959